

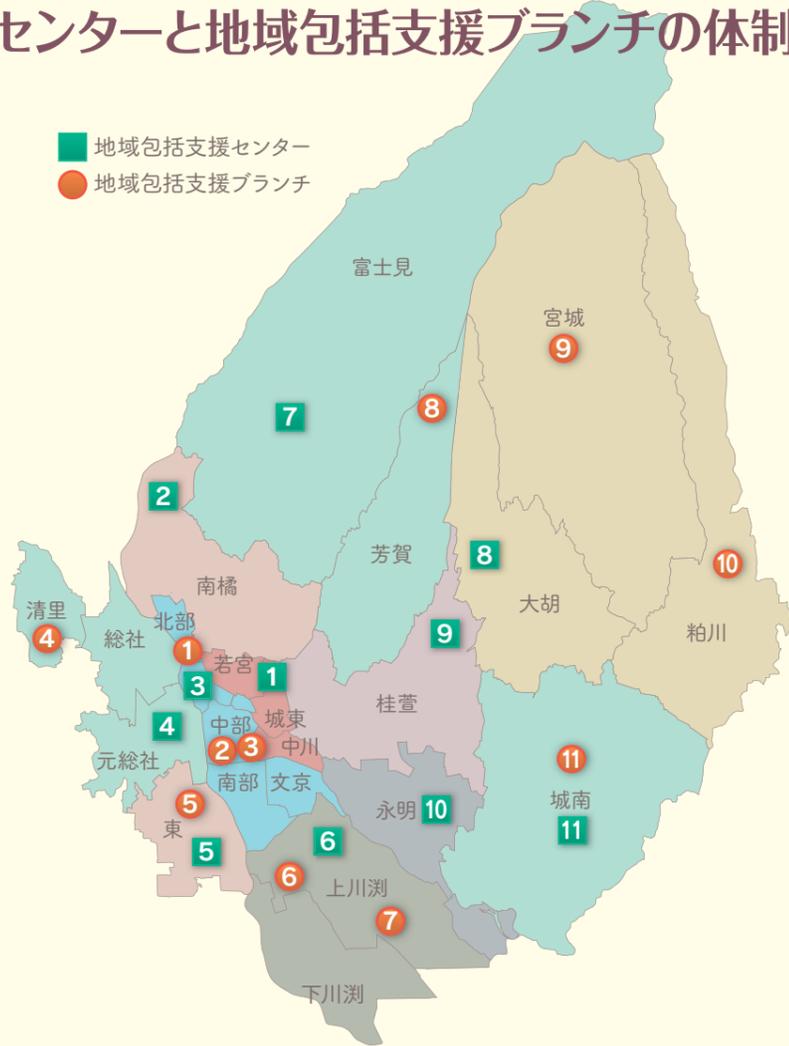
前橋市地域包括支援センターと地域包括支援ブランチの体制

地域包括支援センター

1 中央東	日吉町二丁目 ☎260-6815
2 南橋	関根町 ☎235-3577
3 中央	大手町二丁目 ☎898-6275
4 西部	大友町三丁目 ☎255-3100
5 東	川曲町 ☎280-5590
6 南部	朝倉町 ☎265-1700
7 北部	富士見町田島 ☎288-1133
8 東部	堀越町 ☎283-8655
9 桂萱	江木町 ☎264-0808
10 永明	天川大島町三丁目 ☎290-2880
11 城南	上増田町 ☎267-9898

地域包括支援ブランチ

1 岩神	岩神町二丁目 ☎235-5181
2 サンビュー	紅雲町一丁目 ☎243-0080
3 シャリティエ	表町二丁目 ☎221-6517
4 きよさと	青梨子町 ☎254-1400
5 あずま荘	上新田町 ☎255-1511
6 春日の里	上佐鳥町 ☎265-6688
7 ひろせ	広瀬町二丁目 ☎261-0881
8 ほのほの荘	金丸町 ☎269-1207
9 あゆみの里	柏倉町 ☎280-2520
10 元気の郷	粕川町月田 ☎280-9111
11 すみれ荘	富田町 ☎268-5564



家族からの相談にも応じます



定期的に情報交換

地域包括支援センター

高齢者介護のこと何でも相談してください

高齢化が進む中、老老介護や認知症高齢者の増加などが問題となっています。そこで今回は、介護についての総合的な相談や支援、高齢者の介護予防などを行っている「地域包括支援センター」取材してきました。

担当は市民編集委員 手塚山田。

問い合わせは 介護高齢課 ☎898-6275

市内11カ所で総合的に支援

地域包括支援センターは市内に11カ所設置され、さらにその補助的な窓口として支援ブランチが11カ所に設けられています（9ヶ図のとおり）。各センターでは、高齢者が住み慣れた地域で、長く住み続けられるようにという考えのもと、総合的な支援を行っています。

専門職員が支援しています

同センターでは、地域で暮らす人々が福祉や介護サービ

スを有効に活用できるように支援するケアマネジャー（介護支援専門員）や社会福祉士、保健師などの専門職員が、連携してさまざまな支援を行っています。

〈総合相談〉高齢者とその家族の相談に応じます。高齢者の孤立死や虐待などの防止に取り組んでいます。

〈高齢者の権利擁護、高齢者虐待の早期発見・防止〉高齢者の人権や財産を守るために必要な援助、虐待の早期発見・防止に取り組んでいます。

〈介護予防マネジメント〉介護

保険で要支援1・2の認定を受けた人の介護予防ケアプランを作成します。また、介護が必要な状態にならないように、介護予防事業の対象者把握や介護予防プランの策定・評価を行っています。

遠慮せずに相談を

過去、同センターで受けた相談の数は、平成21年度は約3,400件。平成22年度は約5,300件と年々増えています。その多くは介護についての相談やヘルパーなどの介護サービス利用法についてでしたが、中には自分の老後が不安になって相談に来たという人もいたそうです。

「介護」は思っている以上に大変なことです。精神的・体力的な負担は本人しか分からない点も多く、時としてストレスの原因にもなります。「少しでも負担を減らすためにも、どんなことでも遠慮しないで相談してほしい」と担当者は

話してくれました。

これらの業務をスムーズに進めるためには、知識や技術の向上、情報収集が欠かせません。そのために、地域のケアマネジャーと研修会や情報交換会などを行っているそうです。また、民生委員による訪問調査や、市の職員が玄関先にごみの収集に伺う「こんにちは収集」事業などと連携し、一人暮らしの高齢者などの状況把握にも努めています。

地域との連携を強化

今後は、要介護認定を受けていない一人暮らしの高齢者や介護自体が困難な家庭の調査・サポートを行うなど、地域のネットワークをより一層強めていきたいそうです。

さらなる高齢社会の進展に向け、老老介護に対する情報収集や支援、認知症高齢者の増加などへの対策が必要となってきたります。地域社会がどのように関わればよいか、そしてそのためのネットワークづくりが必要になるだろうと思います。例えば、地域住民にボランティアやサポーター

ーとして協力してもらおうなど柔軟な考え方が必要なのかもしれません。

社会全体で支える介護へ

平成12年に高齢社会への対応として、社会全体で介護の負担を支えるために介護保険制度が設けられました。

「当面は介護など関係ない」という人でも、いつかは「支える・支えられる」立場になるかもしれない。その時に「どうするか・どうされたいか」という観点から、介護保険制度、支援の体制や仕組みを知っておくことも大切なことだと思います。

編集後記

今まで、介護のことには、ほとんど無関心でした。しかし、介護は誰もが避けて通れない道であること、そしてそれを支え合う社会を作り上げていくことが必要不可欠だと感じました。これから介護に関心を持って知識を深めていかなければと思います。